

『Lines of Sight ~それぞれのアジアへの視線~』

● PFWトップページ ● NPIトップページ

Title: 「股旅—gdeh special—」



山市 直佑
1985年栃木県生まれ。祖父母に多大な影響を受けながら育つ。蓮の原健児の気持ちを今でも忘れない。日本写真芸術専門学校助手を経て、現在大学院生兼任フリーランス。

● 最近のエントリー

[yokohama date](#)
(2008.10.08)

● アーカイブ

[Oktober 2012](#)
[März 2011](#)
[September 2010](#)
[August 2010](#)
[März 2010](#)
[Februar 2010](#)
[März 2009](#)
[Februar 2009](#)
[November 2008](#)
[Oktober 2008](#)
[September 2008](#)
[Juli 2008](#)
[Juni 2008](#)
[April 2008](#)
[Januar 2008](#)
[Dezember 2007](#)
[November 2007](#)
[Juli 2007](#)
[Mai 2007](#)
[April 2007](#)
[März 2007](#)
[Februar 2007](#)
[Januar 2007](#)
[Dezember 2006](#)
[November 2006](#)
[Oktober 2006](#)
[September 2006](#)
[August 2006](#)
[Juli 2006](#)
[Juni 2006](#)
[Mai 2006](#)
[April 2006](#)
[März 2006](#)

● 投稿カレンダー

[カテゴリー一覧](#)
[countries report](#)

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future

RSS 2.0

『股旅—gdeh special— > Oktober 2008 アーカイブ』

08.10.08
yokohama date

[Tweet](#)

[Check](#)



ずっと通ってなかった道を久しぶりに通ったら、
そこにあった空き地はなくなっていて、
草もなく、
舗装された駐車場みたいになっていた。
高速道路から降りてくる螺旋状の非常階段とか、
その奥にあった民家はそのままなのに、
そのある特定のスペースだけ変わっている、
というのはすごく不自然な気がした。

でもそんな風にして風景は変わって行くんだろう。
だから散歩は楽しい。

なんで久しぶりにこんなことをここで書いているんだ、
と自分でも疑問だけれど、
最近、
めっきり写真から離れてしまっている気がして、
それが怖くて、
3期生のブログを見て、
それで自分を無理矢理刺激して、

カメラ持って歩かなきゃって気分にさせて、
でも結局その余裕がなくて。

そういうどうどう巡りをしているうちに、
半年が過ぎてしまった。
時間が過ぎるのは早い。

3期生の畠田さんのブログで、
[While My Guitar Gently Weeps]の記事に、
齊藤さんがコメントしているのを読んで、
あ、そうだよな。そうなんだよな。
と頷いてしまった。

前にどっかの雑誌で読んだのだけれど、
あの皆さんもご存知の「ゆず」。
2人組のあの「ゆず」です。
その岩沢さんの方のインタビューで、
「こたつに入ってテレビ見ていて、
音楽番組とかで新しい人とかが活躍しているじゃないですか。
それ見て、『あ、自分も向こう側にいたんだよな』
みたいなことを思って」
というようなくだりがあって、
その期間はちょうど「ゆず」の2人があまり活動していなかった時期で、
ふと、その記事を思い出した。

時間だけはひとりで早足に行ってしまう。
そこにどんな予定を突っ込むかはいわば自分の自由で、
それをきつい日常にしようが、
それをだらっとした生活にしようが、
それは自分次第。
そう思ったら、急に緊張してきた。

やっぱいぞ。
これから更に忙しくなりそう。

カテゴリ：

post by 山市 直佑 | 日時: 2008.10.08 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#)